

(様式1)



報道資料

平成29年12月15日

1 件 名	平成29年 山口市10大ニュース
2 日 時	平成29年12月15日 (金)
3 場 所	—
4 内 容	平成29年中の1年間の本市の出来事「10大ニュース」について、別紙のとおりお知らせします。 なお、ニュースについてのご質問は、各担当部署までお願いします。 ■担当部署連絡先 文化交流課・・・Tel083-934-2717 スポーツ交流課・・・Tel083-934-2874 産業立地推進室・・・Tel083-934-2813 企画経営課・・・Tel083-934-2747、083-934-2746 文化財保護課・・・Tel083-920-4111 都市整備課・・・Tel083-934-2832 観光交流課・・・Tel083-934-2810 職員課・・・Tel083-934-2727 新山口駅拠点施設整備推進室・・・Tel083-934-2676
5 出 席 者	—
6 問い合わせ	総合政策部 広報広聴課 広報担当 Tel 083-934-2753

平成 29 年 山口市 10 大ニュース

■山口情報芸術センター入館者数が 1000 万人に到達

(文化交流課)

平成29年2月17日、平成15年11月1日に開館した山口情報芸術センター[YCAM]の入館者数が、1000万人に到達しました。山口情報芸術センターは、開館以来、メディア・テクノロジーを活用して新たな文化芸術と価値を創造し、世界に発信しながら地域のアートセンターとして、また、子どもの遊び場「コロガル公園」やワークショップ等で知的好奇心を刺激する場として、身近で親しみやすい教育普及活動などを行っています。



■水泳スペイン代表チームの事前キャンプ地に決定

(スポーツ交流課)

2月に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会における水泳スペイン代表チームの事前キャンプ地に本市が決定しました。11月には、FINAスィミングワールドカップ2017東京大会へ出場されるため、本市で初めての事前キャンプが実施され、水泳教室やイベント等で市民の皆さんとの交流も深められました。来年は、事前キャンプの受入とともに日本とスペインの国交150周年記念として、本市を中心として「2018日本・スペイン・シンポジウム」が開催されることから、オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成を図るとともに、市民の皆さんとスペインとの交流をより一層深めていきます。



■順調な企業誘致と新たな産業団地の整備

(産業立地推進室)

3月の株式会社北海小型運輸との進出協定をはじめ、10月の芦森工業株式会社や12月のテルモ株式会社など、6社（平成29年12月13日時点）と進出・増設協定を締結しました。これにより、雇用予定人数が、現在の山口市総合計画後期まちづくり計画に掲げる5年間で500人以上という目標を大きく上回る1,323人（平成29年12月13日時点）となりました。相次ぐ企業の進出により、産業団地における分譲可能な残り区画がわずかとなったことから、5月には、鋳銭司地域に新たな産業団地の整備を決定しました。引き続き、こうした取り組みを加速化し、さらなる雇用の場の創出を図ります。

■山口県央連携都市圏域を形成、山口県央連携都市圏域ビジョンを策定

(企画経営課)

3月30日、山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、津和野町の7市町は、連携協約により山口県央連携都市圏域を形成し、圏域の経済戦略である「山口県央連携都市圏域ビジョン」を策定しました。平成33年度における圏域の定住人口について約60万人という目標に向け、圏域の関係市町が連携して交流や雇用の創出を図る取り組みをスタートしました。今後も、活力ある社会経済の維持を図る取り組みを進めていきます。



■明治維新 150 年に向けて山口市菜香亭リニューアルオープン

(文化交流課、文化財保護課、都市整備課)

来年の明治維新 150 年におけるさらなる回遊性の向上のため、近代日本と本市の歴史を物語る山口市菜香亭が、4 月 16 日にリニューアルオープンし、菜香亭周辺に広がる地形を模した「歴史巡りの庭」と、地域のイベント等にも活用できる「多目的広場」が整備されました。この他にも、本市では、明治維新 150 年に向けて、明治維新を学べる施設としての十朋亭周辺の整備や、亀山公園山頂広場の再生整備により、大内文化ゾーン全体が明治 150 年記念公園となるような都市空間を形成するとともに、山口ゆめ花博の開催をはじめとした記念事業等により、明治維新の策源地である本市の魅力に磨きをかけ、新たな対流・交流を創り出します。



■幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーンを実施

(観光交流課)

9 月 1 日から 12 月 31 日まで、全国の JR グループと山口県並びに県内自治体が連携して取り組む大型観光キャンペーン「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン（以下、DC）」を実施しています。DC 期間中の注目イベントとして本市で行われた「全国 SL サミット in やまぐち」では、SL サミット記念式典のほか、「デゴイチ」の愛称で親しまれている D51 形蒸気機関車が SL 「やまぐち」号として、山口線では 44 年ぶりに復活運転されるなど、市内外から多くの観光客の皆様をお迎えしました。今後も交流人口の拡大に向け、本市の多彩な観光資源を PR していきます。



■4 期目となる市政運営がスタート

(職員課)

10月29日に行われた山口市長選挙の結果、現職の渡辺市長が4期目となる当選を果たしました。翌日、渡辺市長は山口総合支所で当選証書を受け取った後、市幹部職員約200人を前に、「本市は、山口県央部を圏域とする「広域経済・交流圏」の形成等を通じた「広域県央中核都市づくり」を積極的に進めることで、県都としての求心力ある都市づくりを進め、圏域の経済活動を支えていかなければならない。農山村エリアの人口減少への対応、子育て環境の充実・整備、安全・安心な暮らしづくりなど、本市の未来を確かなものとするための課題は山積している。「8つの約束」を着実に実行し、愛する「ふるさと山口」を発展させ、「住んでよかった、これからも住み続けたい」と心から思えるまちづくりを実現したい」と訓示を述べました。

■平成 30 年度を始期とし、本市の長期的なまちづくりの方向性を示す

第二次山口市総合計画（案）を作成

(企画経営課)

市民意識調査や若い世代をはじめとする幅広い世代や分野を対象としたワークショップを開催しながら、2年間にわたり検討を進めてきた、本市の長期的なまちづくりの方向性を示す「第二次山口市総合計画（案）」を作成しました。この中で将来都市像として掲げる「豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口 ～これが私のふるさとだ～」の実現に向け、8つの重点プロジェクトの「広域県央中核都市づくり」、「個性と安心の 21 地域づくり」、「教育・子育てなら山口」、「働く・起業なら山口」、「文化・スポーツ・観光なら山口」、「健康長寿のまち」、「安全安心のまち」、「市民サービス向上」を展開することで、あらゆる世代の方々に、「住んで良かった、住み続けたい」と心から思っただけのようなまちづくりをオール山口で進めることとしています。なお、第二次山口市総合計画の策定とともに、各部門の計画も策定します。

■新山口駅北地区拠点施設の整備が本格的にスタート

(新山口駅拠点施設整備推進室)

平成 32 年度の供用開始を目指す新山口駅北地区拠点施設整備事業が本格的にスタートしました。最大 2,000 席の収容能力を有する多目的ホールは、自動収納式の座席を導入することにより、企業や学会等のコンベンションや各種展示会をはじめ、ライブコンサート、演劇などの興行に加え、通信インフラの導入によるライブビューイングやパブリックビューイング等、次世代型イベントにも対応可能なホールとして整備します。本施設は他に起業創業・中小企業支援センターやメディカルフィットネス、交流目的シェアハウス等、多様な機能を導入することとしており、各機能が連携し、効果を発揮することで、良好な市街地形成や高次都市機能の集積等が進み、「山口県ナンバーワンのビジネス街」が形成されることを目指します。

■新本庁舎整備に関する基本的な考え方や方向性を取りまとめた
山口市新本庁舎整備基本方針（案）を作成

（企画経営課）

2 月に提出された山口市本庁舎の整備に関する検討委員会からの答申書や本市のまちづくりなどを踏まえ、候補地周辺への影響や来庁者の安全性・利便性、コスト面から候補地の絞込みの検討を行い、総合的に判断した結果、新しい本庁舎は、「現在地及び中央駐車場」において整備することとしました。現在、新本庁舎の整備手法や必要な役割や機能、規模、整備の進め方など、新本庁舎整備に関する基本的な考え方や方向性を取りまとめた「山口市新本庁舎整備基本方針（案）」についてパブリックコメントを実施しており、平成 29 年度中に基本方針を決定する予定です。